

Title	Keio economic studies volume III, 1965
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1966
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.59, No.11 (1966. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	小泉信三博士追悼特集
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19661101-0195

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

KEIO ECONOMIC STUDIES

Volume III, 1965

CONTENTS

- Embodied Technical Progress and Economic Growth *Fusaji Takahashi*
 On William Godwin *Atsushi Shirai*
 Shifting of the Japanese Corporation Income Tax and the Differential Tax Burdens on Corporations by Size-Groups *Seiji Furuta*
 The Prospect of Soviet Economic Policy *Hiroshi Kato and Haruki Niwa*
 Non-Marxists' View on Marxist Economics *Yoshindo Chigusa*
 Economic Planning in Japan Critically Examined *Konosuke Yamada*
 Some Comments on "The Determination of Distributive Shares in a Two-Sector Model" *Kunio Kawamata*
 Rejoin to Mr. Kawamata's Comments *Shigeo Tomita*

THE KEIO ECONOMIC SOCIETY

Keio University

1966年(昭和41年)	1965年(昭和40年)
<p>五月十一日心筋梗塞症により死去。 五月十四日青山葬儀所においてキリスト教式により葬儀。 九月 サルトル、ポーワール米塾知識人の役割と女性の地位について講演。</p>	<p>東京都より名誉都民の称号を贈られる。 一月 学費値上げに反対して学生スト。 二月 経済学部助教助手会結成。要旨書を発表。 三月 高村塾長辞任。 四月 永沢法学部長、塾長となる。 一〇月 カリキュラム改定審議。</p>
<p>◇著書 「小泉信三集」(現代人生論全集3) 雪華社 「福沢諭吉」(岩波新書) 岩波書店 「座談おぼえ書き」 文芸春秋社 「国家の死亡」 フェイス社 「私の文芸談」 新潮社 「海軍主計大尉小泉信吉」 文芸春秋社 「私の履歴書」 日本経済新聞社</p>	
<p>○中ソ論争激化。 早大事件、大学紛争続く。専売公社選挙違反事件、田中彰治事件など、政界の腐敗事件続く。荒船、松野、上山事件。小選挙区制をめぐる動き活発となる。航空機の事故連続。日共自主路線をとる。三菱重工統合。日産・プリンス合同など企業合併続く。</p> <p>(中) 文化大革命。 (印) ガンデー女史首相となる、食糧危機。 (ウ) ウェトナム北爆激化、ホノルル会議。 (イ) インドネシア、反共デモ続き、共産党非合法化。 (ド) ドゴール、NATOの改組を要求、脱退を宣言。 (英) 労働党大勝。</p>	<p>期待される人間像発表。ILO調査団来日。慶大 学費値上げ反対スト。原潜寄港続く。三矢研究問題化。日韓基本条約仮調印。北炭夕張炭鉱でガス爆発。山陽特殊鋼など倒産。東証ダウ安値更新。東京都議会議長逮捕。ILO案件可決。吹原産業事件。海員組合スト。公労協半日スト。私鉄二四時間スト。佐々木更三社会党委員長に当選。山一証券へ日銀特別融資。山野炭鉱爆発事故。日韓条約調印。都議会選挙で社会党第一党。社会、公明小選挙区制反対で共闘確認。 (韓) 南ウェトナムへ二千人派兵、ソウルに衛戍令発動、日韓条約批准案を与党単独で可決。 (インドネシア) 国連脱退、クーデタ起る。 (ソ) モスクワで世界共産党協議会、中国共産党不参加。 (ウェトナム) アメリカ大使館爆発、米地上軍直接戦闘参加表明。</p>

(白井厚)